

3 学習・社会参加

(1) 60歳以上の者のグループ活動

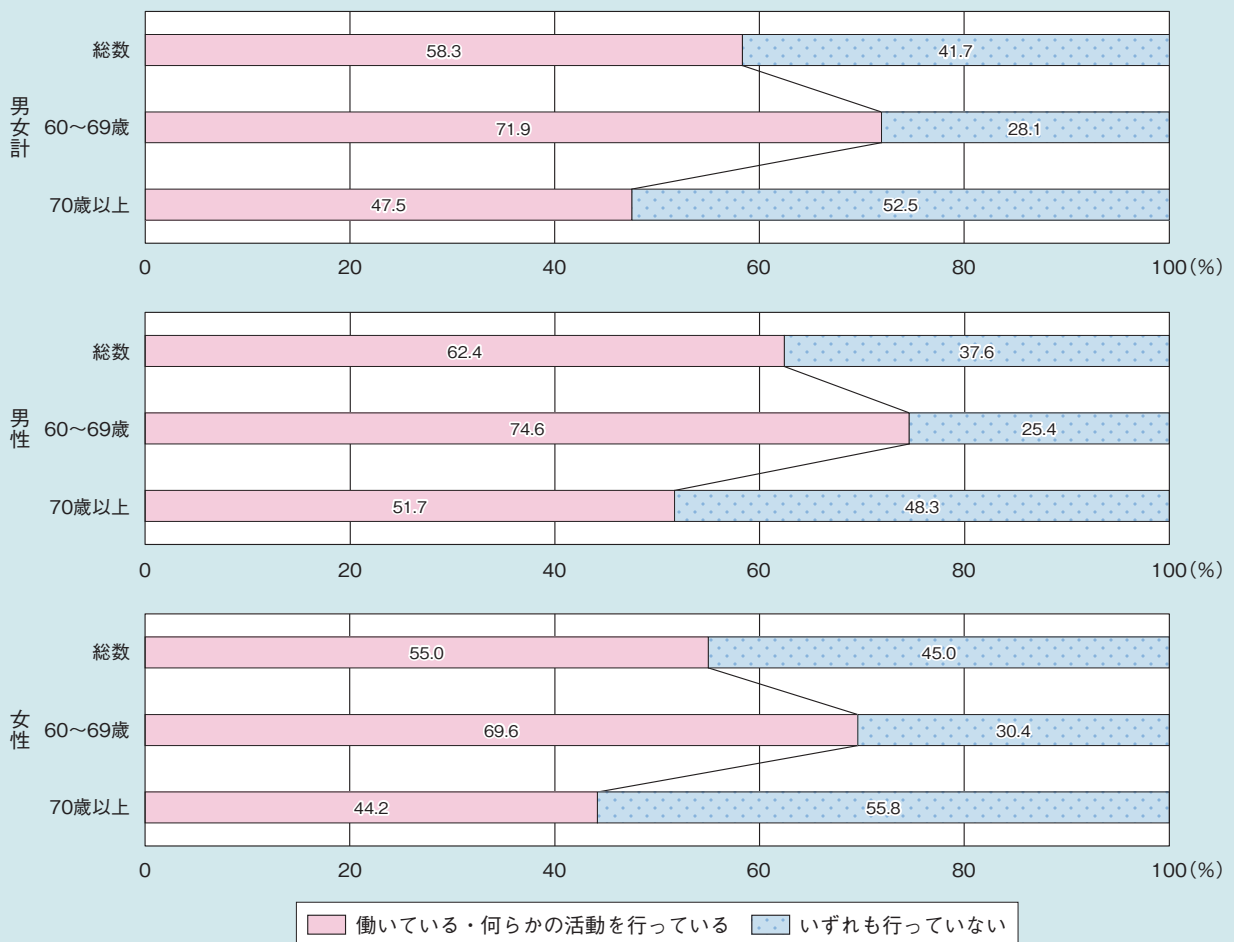
ア 60歳～69歳の約7割、70歳以上の約5割弱が働いているか、またはボランティア活動、地域社会活動（町内会、地域行事など）、趣味やおけいこ事を行っている

60歳以上の者の社会活動の状況について見ると、60歳～69歳では71.9%、70歳以上では

47.5%の者が働いているか、またはボランティア活動、地域社会活動（町内会、地域行事など）、趣味やおけいこ事を行っている。

男女別に70歳以上での社会活動の状況を見ると、男性は51.7%、女性は44.2%の者が働いているか、何らかの活動を行っている（図1-2-3-1）。

図1-2-3-1 60歳以上の者の社会活動の状況



資料：厚生労働省「平成28年国民健康・栄養調査報告」

(注) 質問は「あなたは現在働いていますか。または、ボランティア活動、地域社会活動（町内会、地域行事など）、趣味やおけいこ事を行っていますか。」

また、社会的な貢献活動（最も力を入れている活動）をされていてよかったことを尋ねたところ、全体では「新しい友人を得ることができた」（56.8%）や「地域に安心して生活するためのつながりができた」（50.6%）が5割台で高い（図1-2-3-2）。

(2) 60歳以上の者の学習活動

ア 60～69歳の5割以上・70歳以上の4割以上が、この1年くらいの間に学習をしたことがある

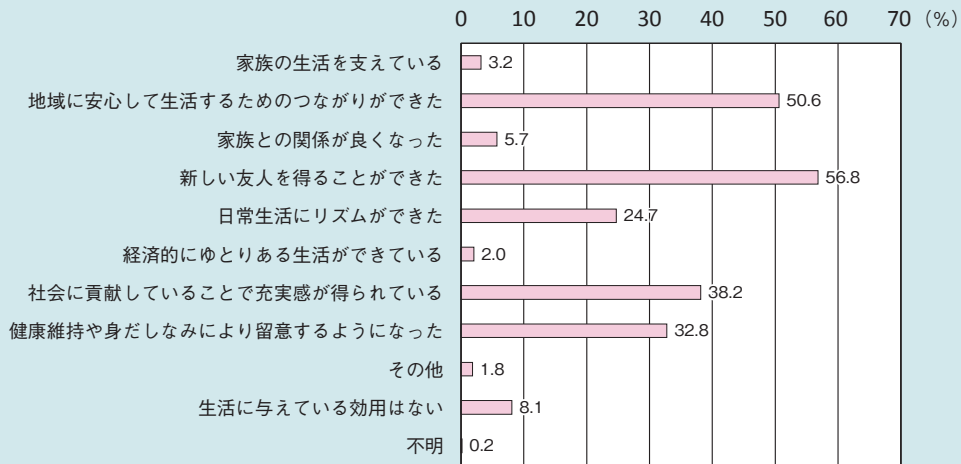
60歳以上の者の学習に関する状況について見ると、この1年くらいの間に学習をしたことのある人は、60代では55.0%、70歳以上では42.5%となっており、70歳以上で低くなる。学習の形式は、60代では「インターネット」が最

も多く、16.5%である一方、70歳以上では「公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室」が16.2%と最も多くなっている（図1-2-3-3）。

イ 60～69歳で8割、70歳以上で6割の人が「学習したい」と回答

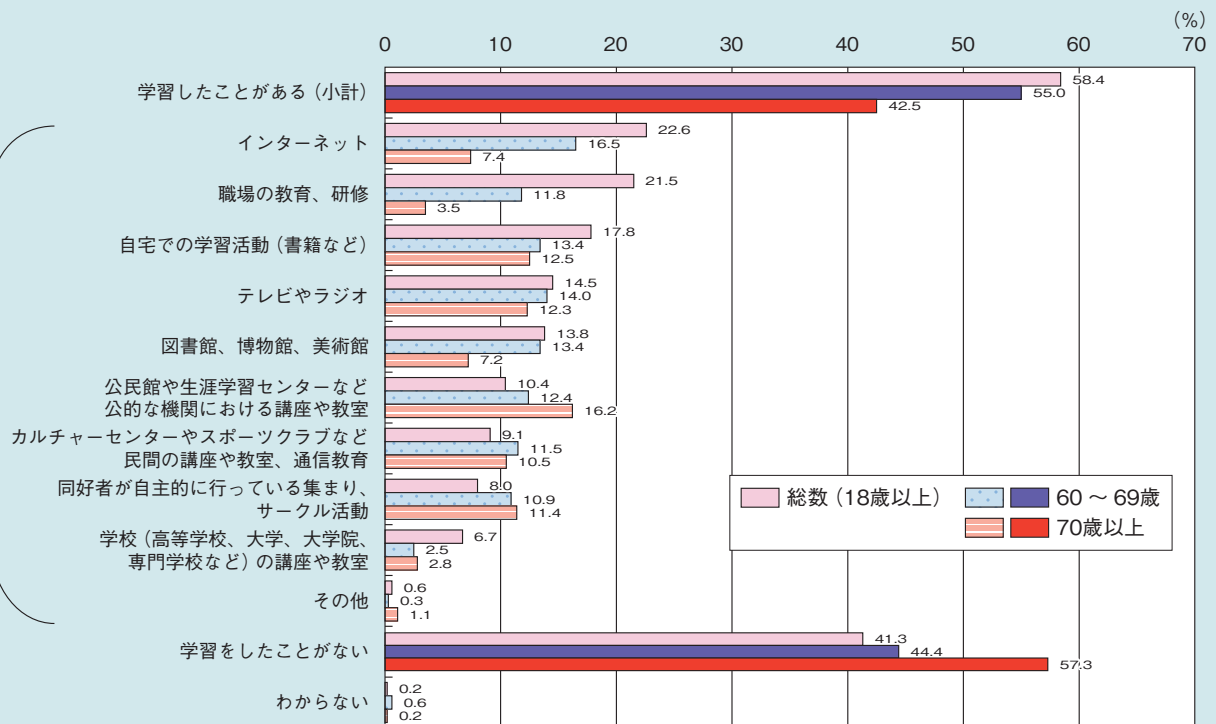
60～69歳で81.4%、70歳以上で62.6%の人が「学習したい」と回答している。これから学習するとすればどのようなことを学習したいかを聞いたところ、60～69歳では「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が39.8%と最も多く、70歳以上では「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）」が31.5%と最も多い（図1-2-3-4）。

図1-2-3-2 社会的な活動をしていてよかったこと（複数回答）



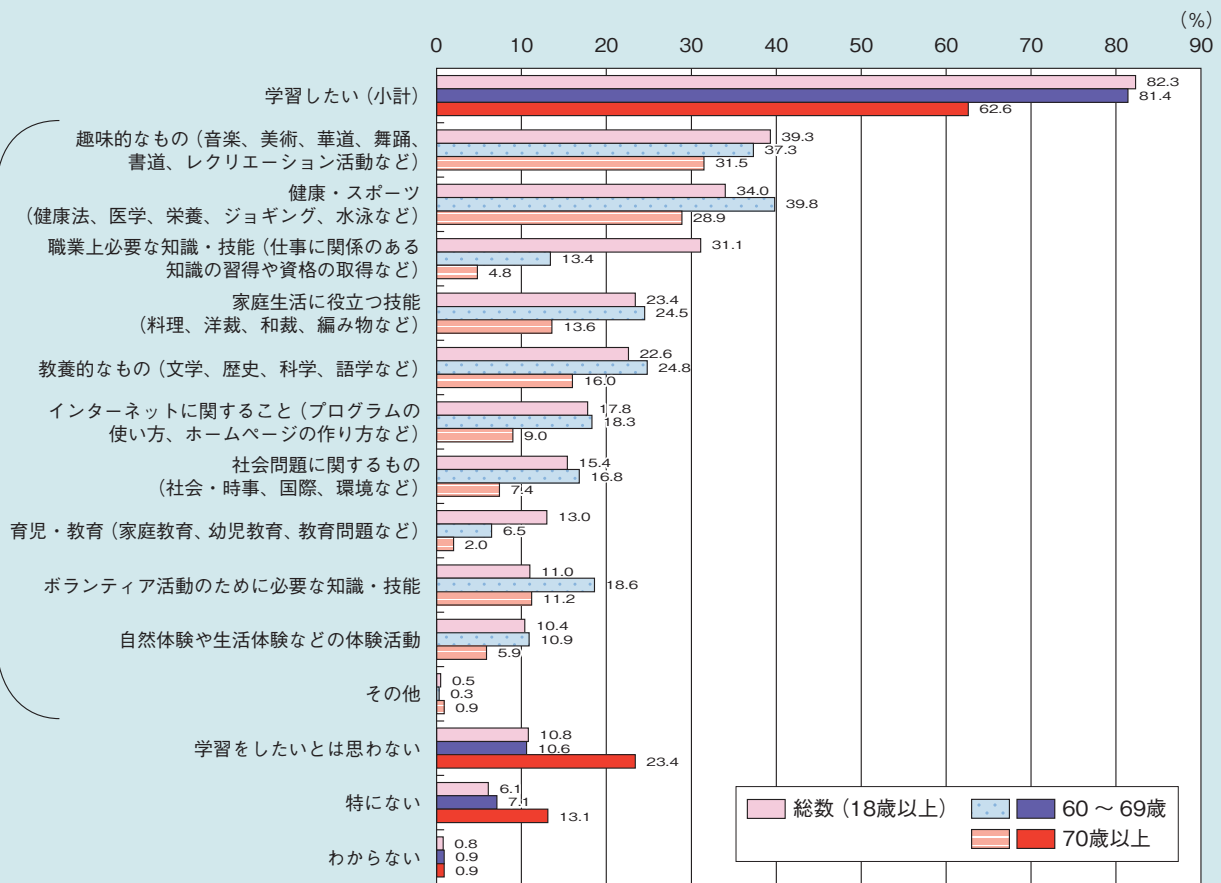
資料：内閣府「高齢者の経済・生活環境に関する調査」(平成28年)
 (注1) 調査対象は、大分県と熊本県を除く全国の60歳以上の男女。
 (注2) 回答条件は社会的な活動（貢献活動）をしている者
 (注3) 複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動について回答している。

図1-2-3-3 この1年間の学習の形式（複数回答）



資料：内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成30年)
 (注) 調査対象は全国18歳以上の日本国籍を有する者であるが、そのうち60歳以上の回答を抜粋して掲載

図1-2-3-4 今後学習したい内容（複数回答）



資料：内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成30年)

(注) 調査対象は全国18歳以上の日本国籍を有する者であるが、そのうち60歳以上の回答を抜粋して掲載